

令和7年度 道徳教育 全体計画

学校 番号	70	蘇南 高等学校	全 課程	総合学 科
----------	----	------------	---------	----------

学校教育目標
「開拓者の精神を具現することのできる学校を」という建学の精神に基づいて次の目標を定め、地域社会の期待にこたえることのできる人材の育成を目指す。 ・自主的、自立的な生活態度を養い、自己の進路を切り拓く力をつける。 ・青年らしい公明で誠実な生き方と豊かな社会性を身につける。 ・学問と真理を愛し追究する力をつける。
重点目標
①生徒減に対する対応 ②生徒の「個別最適な学び」「協働的な学び」の推進 ③中山間地存立校として、学びの可能性を探る ④安定した生徒指導体制の確立 ⑤進路指導体制の確立 ⑥生徒の自主的な活動の支援

道徳教育の重点目標
1 本校生としての自覚を持ち、学校における諸活動を通して、自律的・主体的な行動力を身に付ける。
2 他者と協働する活動を通して、集団の一員として、よりよい社会の創造に貢献できる資質・能力を養う。
3 地域社会との交流を通して一人ひとりの多様な在り方生き方を尊重する高い道徳性を育成する。
4 すべての生徒が安心して学校生活を営むことができる環境をつくり、特にいじめは絶対に許さないという心を育てる。

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等
1年	学校内外での諸活動を通して、自律的な行動に努め、人間としてよりよく生きていくための基本になる態度を養う。	総合学科独自科目である「産業社会と人間」を中心として、キャリア意識を高める活動に取り組む。 ○産業社会と人間 ○フィールドワーク ○ソーシャル・スキル・トレーニング ○系列選択	仲間とともに協力し合う活動の中で、他者と良好な人間関係を構築するとともに、自ら進んで行動する態度を身に付ける。 ○合唱活動 ○SNSの正しい利用法について ○人権学習（いじめのない学校生活のために）	より自律的な行動に努め、集団の活動がよりよいものとなるよう努力する態度を養う。 ○部活動における望ましい人間関係の在り方について ○文化祭
2年	人間としての在り方や生き方についての自覚を高め、よりよい社会を創造する一員として、他者と協働する態度と行動力を身に付ける。	将来を展望し、自ら進路を切り拓くために、各自の選択科目の学びを深める。 ○産業社会と人間 ○インターシップ ○科目選択 ○キャリアガイダンス ○職業理解・社会理解	校内における諸活動の中心である自覚を持ち、他者の存在を尊重し、よりよい集団作りに向けて主体的に行動する。 ○合唱活動 ○平和学習（修学旅行事前学習） ○人権学習（多文化共生社会の実現に向けて）	校内組織における中心的な存在として主体的に行動し、目標の実現に向けて他者と協働する、自主的かつ実践的な態度を身に付ける。 ○部活動内で行われる諸活動 ○文化祭 ○生徒会の運営
3年	社会の諸課題に対して主体的に解決していくとする資質・能力を育成し、すべての人が尊重される社会の実現に係る道徳的実践意欲と態度を涵養する。	総合探究を中心として、コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付ける。また、互いを尊重しあい、多様な進路希望実現のために学びあう態度を養う。 ○進路探究 ○総合探究	社会の構成者としての自覚を持ち、学校や地域社会の諸課題を主体的・意欲的に解決していく態度を養う。 ○合唱活動 ○主権者教育 ○人権学習（社会生活の中の権利と責任）	本校生としてのみならず、社会を構成する一員としてのじかきに基づき、すべての人が尊重される社会の実現に向けた活動に取り組む。 ○生徒会の運営 ○文化祭の運営 ○ボランティア活動

各教科	
国語	言葉による見方・考え方を働かせ、他者との関わり合いの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養い、道徳的心情や判断力を育む。
地理歴史	社会との関わりを意識して課題を追究することによって、社会の在り方や人間としての生き方について選択や判断をする力を育む。
公民	持続可能な社会づくりの観点から、地球規模の諸問題や地域課題を解決しようとする態度を育む。
数学	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、知的好奇心や豊かな感性、粘り強く考える態度を含め、創造性の基礎を養う。
理科	自然の事物・現象を探究する活動を通して、道徳的判断力や心理を大切にしようとする態度を育成する。
保健体育	体育や保健の見方・考え方を働かせ、学習過程を通して、粘り強くやり遂げる心や一人ひとりの違いを大切にできる態度を養う。
芸術	芸術における見方・考え方を働かせ、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
外国語	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
家庭	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、家庭や地域社会の一員としての自覚を持って自分の生き方を考える態度を育成する。
情報	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報社会で適正な活動を行うための基となる考え方や態度を身に付ける。
商業	経済社会との関わりにおいて全体の幸福を追求し、新たな社会を切り拓く力とコミュニケーション能力を育成する。
工業	実践的・体験的な活動を通して、職業人としての倫理観と豊かな人間性を育み、社会貢献に主体的・協同的に取り組む態度を養う。
総合的な探究の時間	探究の見方・考え方を働かせ、主体的・協働的な取り組みを通して新たな価値を創造し、よりよい社会を実現する態度を養う。

家庭・地域との連携	・校内の諸活動について、地域に開かれた学校として、地域社会との連携を深めながら生徒が主体的に社会に貢献しようとする態度を育成する。 ・家庭と連携し、日常生活の中で、生徒が自己を尊重するとともに他者を尊重する心を育て、よりよい社会の構成者としての自覚を高める。
-----------	--